

「病 院」 第 50 巻 総目次

1991 年 (第 1 号～第 13 号)

() 内数字は号数, 数字は通巻頁数

特 集

● 病院のパラダイムシフト——(1)

〔てい談〕医療の枠組みをどう変えるか	
……………諸橋芳夫・村瀬敏郎・大道 久	18
医療における社会保険の役割と限界	……………安田恒人 25
〔インタビュー〕もっと医療に競争の原理を浅田敏雄	29
医療費の将来を展望する	……………田中慶司 34
公私の病院が共に生きる道	……………廣田耕三・早川大府 40
〔座談会〕病院に求められる発想の転換	
……………中山耕作・海北幸男・柳澤 忠	
……………川渕孝一・川島みどり	44

● 変革する病院経営とトップマネジメント——(2)

変革する病院経営とトップマネジメント	……………岩崎 榮 106
〔てい談〕変化に対応できる経営者とは	
……………星 和夫・三枝 匡・河北博文	110
3つのパラドックスとこれからの病院経営	……………川渕孝一 120
変化に対応できる病院経営とは	
……………竹本吉夫・丹野清喜・山口 昇・武田隆男	
……………川村耕造・中山耕作・亀田俊忠	124

● 病院の国際化——(3)

病院の国際化がなぜ必要か	……………紀伊國献三 203
地球環境保全と病院	……………茅野丈二 207
情報の国際化	
……………開原成允・寺松 尚	
国際協力事業団 医療協力部 国際緊急援助室	211
医薬品流通の構造と薬価制度の問題について	
……………岩田明達	220
病院の国際化のための卒前・卒後医学教育	……………植村研一 224
〔対談〕日米の医療事情と日本の対外医療援助	
……………アンディ=二宮・渥美和彦	228

● 中小病院の明日を拓く——(4)

中小民間病院の活路を求めて	
……………高橋順一郎・天本 宏・大脇 潔・勝木道夫	
……………中澤明子・大田浩右・横倉義武・高野正博	282
中小病院のネットワーク	……………石田貞治・沢柳 太 300
医師会病院と中小病院	……………松岡克己 306
公的中小病院の存在意義	……………横内正典・谷川 高 309
〔座談会〕中小民間病院の未来を語る	
……………木村佑介・富田恭弘・竹内 實	315

● 看護と介護—共存への道——(5)

〔対談〕ニーズへの対応 看護・介護	
……………杉谷藤子・井上千津子	370
病院の立場からみた看護と介護	
……………寺田一郎・小林房子	378
リハビリテーション施設からみた看護と介護	
……………長谷川幹	384
老人保健施設, 特別養護老人ホームからみた看護と	
介護	……………平井基陽・南 溢 388
看護と介護—つきそい制度とケア強化病棟	

……………吉岡 充・田中とも江 392

看護・介護要員の需給

……………星野桂子 395

在宅ケアでの看護と介護

……………関 寛之 400

● 病院医療の質の改善——(6)

医療の質の評価をめぐる	……………伊賀六一 458
看護評価の実践	……………沖西喜代美 463
病院医療の質の改善における病理部門の役割	
……………石河利隆	470
医療の質の評価の手法を探る	……………郡司篤晃・丸山夕香里 475
わが国の病院機能評価のその後	……………藤咲 暹 480
アメリカにおける医療評価の歴史と現状・1	

……………William F. Jesses/岩崎 榮・吉中 穰(訳) 484

〔てい談〕良質の医療を効果的に提供するシステム

づくり

……………開原成允・篠崎英夫・岩崎榮 490

● 新しい長期療養サービス——(7)

入院医療管理料制度の導入と展開	……………小山秀夫 554
療養型病床群の役割と運用の考え方	……………大道 久 558
介護力強化病院の現状とその運用効果	……………新木一弘 563
介護力強化病院の運営経験から	……………木下 毅・渡辺庸一 568
長期療養のための看護・介護体制をどう整備するか	
……………戸金隆三	575

老人病院と老健施設・特養ホームの患者・入所者の

ニーズ調査

……………寺崎 仁 579

〔座談会〕長期療養サービスのあり方をめぐって

……………伊藤雅治・漆原 彰・島内 節・竹内 實 585

● 病院のヒューマン・リソースは万全か—病院職員の採用と募集——(8)

産業構造の変化とヒューマン・リソース	……………高梨 昌 646
労働力不足時代の婦人の就業動向「平成2年版婦人	
労働の実情」より	……………労働省婦人局婦人労働課 652
ヒューマン・リソースのマネジメントと医療界の問題	
……………池上直己	656

病院におけるヒューマン・リソース・マネジメント

……………黒田幸男 660

公立病院における募集と採用

……………時任純孝 664

〔インタビュー〕企業におけるヒューマン・リソース

の募集と採用

……………藤本勝政・内尾研二・井手義雄(聞き手) 667

医療関係職養成施設卒業生の就職動向

……………藤間英雄・森 芳夫

……………有馬克彦・萩原利昌ほか・中村春基 673

● 病院が好きになる——(9)

病院のここが嫌い

……………南 砂・北嶋 孝・宮澤令幸

……………山口祐司・波平恵美子 746

〔事例〕病院のイメージアップ作戦

……………三浦聡雄・安藤高夫・佐々木啓和

……………鎌田 實・黒澤正憲・大島紀玖夫・大江唯之

……………三上勝利・堀内弘雄・高尾武男

……………古川ひろ子・野尻義雄・井手義雄 751

地域社会との交流を

……………若月俊一 764

病院のイメージアップ戦略	上原征彦	769
職員は病院が好きなのか	針谷達志	773
●病院にとってのゴールドプラン		(10)
〔インタビュー〕ゴールドプランでは医療機関に何が求められているのか	岡光序治	826
ゴールドプランの実施に向けて	山口 昇・石井信芳・大田浩右・坪井栄孝	832
地域の実情を踏まえて利用できるものは利用する姿勢で—公立病院での実践を通して	斎藤芳雄	841
シルバープランからゴールドプランへ—超高齢化社会への民間病院の対応	金澤知徳	845
ゴールドプランのゆくえ	小室豊允	852
民間ホームヘルプの現場からゴールドプランをみる	大久保さわ子	856
●病院のチェーン化・ネットワーク化		(11)
現代の複雑性と医療におけるネットワーク	金子郁容	933
私的病院チェーンの最近の動向	二木 立	939
〔インタビュー〕病院のチェーン化—何をめざし、何を実現したのか	中村哲夫	944
病院経営と協同組合	中村了生	949
〔座談会〕医療政策と病院のチェーン化・ネットワーク化	早川大府・山口剛彦・河北博文	953
●〈増刊号〉日本の病院建築		(12)
●病院経営の実態に迫る		(13)
〔座談会〕病院の経営基盤をどう安定させるか	坪井栄孝・秀嶋 宏・小田清一・河北博文(司会)	1014
数字で見る当院の経営実態—公立病院, 公的病院, 民間病院 10 施設の調査から	寺田 守・高橋勝三ほか・井手義雄 岩崎照宣・寺田一郎ほか・伊藤 研・河北博文 西能正一郎・大江唯之・横内正典	1025
公的病院における採算性向上への取り組み	星 和夫	1056
大規模病院経営の新しい指標—聖マリア病院における積極経営の軌跡	井手義雄	1061
病院経営の位置づけのための指標—病院経営コンサルタントの立場から	松田紘一郎	1066
病院経営とキャピタルコスト	高原亮治	1069
グラフ		
心をつなぐリレー—東京・東大和病院		9 (1)
病院の医療機能と福祉の連結—済生会中津医療福祉センター		97 (2)
病院の隅々にまで行き渡る「患者中心の発想」—公立富岡総合病院		185 (3)
「思いやりの心」を基調に質の向上を図る—医仁会武田総合病院・武田病院グループ		273 (4)
地域に開かれた医療に向けて—医療法人日鋼記念病院		361 (5)
「住民のための、住民による、住民とともに生きる病院」—公立陶生病院		449 (6)
変貌する農村と共に歩んだ半世紀—秋田県厚生連・山本組合総合病院		545 (7)
総合的リハビリを目指して—国立療養所長崎病院		637 (8)

老人病院に求められる「サービスの質」とは—青梅慶友病院		729 (9)
緑に囲まれた心温まる病院づくり—盛岡赤十字病院		817 (10)
「総合基幹病院」へ飛翔—北九州市立医療センター		913 (11)
「きれいな病院作り」を合言葉に患者に選ばれる病院を目指す—青梅市立総合病院		1006 (13)

人

真栄城 優夫・沖縄県立中部病院院長	宮城征四郎	16 (1)
大道 學・医療法人大道会大道病院・ボバース記念病院理事長	行天良雄	104 (2)
浅野 献一・JR 東京総合病院院長	黒田善雄	192 (3)
伊藤 研・第41回日本病院学会会長代行	諸橋芳夫	280 (4)
脱精神病院に深い関心	金子嗣郎・東京都立松沢病院院長	368 (5)
三宅和夫・茨城県西総合病院院長	榎井真美	456 (6)
柴田淳一・第30回全国自治体病院学会会長	三原 茂	552 (7)
門脇豊子・厚生省看護研修センター所長	野村かず	644 (8)
開原成允・第20回日本病院設備学会会長	大道 久	736 (9)
長谷川博・茨城県立中央病院院長	松浦 鎮	824 (10)
川原啓美・愛知国際病院院長	戸田安士	920 (11)
藤岡晨宏・兵庫県立尼崎病院院長	西村亮一	1012 (13)

主張

望まれる医療評価の開発研究		17 (1)
民間病院の経営		105 (2)
「振り分け機能」を考える		193 (3)
医療における「公正」と「公平」		281 (4)
明るい病院		369 (5)
看護婦問題と病院の対応		457 (6)
病院職員確保の条件		553 (7)
賞与と病院経営		645 (8)
診療報酬の見直しと今後の医療		737 (9)
節度ある病院		921 (10)
地域格差と社会保険制度		825 (11)
勤務医選別の時代		1013 (13)

今日の視点

〔対談〕日本医療の構造変化と病院	二木 立・紀伊國献三	194 (3)
〔対談〕医療政策とは何か	田中 滋・池上直己	738 (9)
〔対談〕老人「医療」と「福祉」のあるべき姿を語る	横内正利・今井 澄	861 (10)
〔座談会〕病院事務職は一生の仕事だ	関根茂・玉木真一・矢作允宏・佐藤俊一	922 (11)

特別事記・特別企画・特別寄稿

医療記録の証拠価値	鹿内清三	53 (1)
保険医療機関に対する指導・監督	岡本悦司	71 (1)
日本臨床工学会が目指すもの	沢 桓	405 (5)
21 世紀の救急医療の充実に向けて—救急救命士法の成立とその背景	篠崎英夫・藤井 充・山崎勝彦	501 (6)
アメリカにおける医療評価の歴史と現状・2		

……Kim Gallagher／岩崎 榮・吉中 稔(訳)	681 (8)
(アメリカにおける医療評価の歴史と現状・1-Wil-	
lian F. Jessee／訳者同上は第50巻第6号特集	
に掲載)	
病院における組織改革と医局運営	岸口 繁 961 (11)

建築と設備

市立芦別病院	
……名古屋大学 柳澤研究室・久米建築事務所	65 (1)
佐世保市立総合病院	梶原正樹・林 一公 145 (2)
フィンランドの高齢者介護と慢性疾患の施設体系	
……ヘリーナ・コティライネン	241 (3)
高砂市民病院	三村澄夫 327 (4)
病院の緑化計画	三沢 彰 424 (4)
公立富岡総合病院	山口幾義 505 (6)
財団法人東京都保健医療公社東部地域病院 影山 諒	607 (7)
中小病院3題—中条病院・神岡町病院・日立製作所	
小平記念東京日立病院	
……河口 豊・水登 裕 石田 好	
野崎庸之・古賀信二	691 (8)
テキサス・メディカル・センター	伊藤 誠 777 (9)
〔てい談〕病院内のコミュニケーション	
……嶋崎佐智子・池川豊躬・長澤 泰	875 (10)
明石市立市民病院	暦利 徹 973 (11)
横浜労災病院	和田 篤 1075 (13)

事例・医療施設間連携

兵庫県立尼崎病院	藤岡晨宏 76 (1)
病診連携20年の経験から	柏木政伸 152 (2)
(財)東京都保健医療公社東部地域病院	
……木下祐宏・大道 久・寺崎 仁・塚田慎吾	252 (3)
病診連携の現状と課題—仙台オープン病院 富永忠弘	333 (4)
大分市医師会立アルメイダ病院	吉川 暉 420 (5)
多治見市における病診連携—市民病院と市医師会に	
よる開放病棟運営を通じて	
……上野 喬・三島敏雄・安藤 宏	511 (6)
亀田総合病院における広域連携	亀田俊忠 594 (7)
活気づく「高齢者ケア・ネットワーク」—松原市から	
の報告	岡本祐三 703 (8)
病診連携でスタート—済生会日田病院	……小金丸道彦 784 (9)
7病院との連携による姫路市医師会のオープンシス	
テム	……滝谷泰博 887 (10)
窓口、情報の一本化でより迅速・緊密な病診連携を	
目指す名古屋第二赤十字病院	
……安藤恒三郎・栗山康介・羽衣石文恵	
長友貴代美・山口和宣・小瀬 勇	1081 (13)

今、なぜ戦後医療技術史か(上林茂暢)

ハイテク医療への関心のたかまりとその背景	613 (7)
ハイテクノロジーとローテクノロジーとの共存	686 (8)
戦後医療技術史の時期区分〔1〕	869 (10)
戦後医療技術史の時期区分〔2〕	979 (11)

実践・病院のマネージメント(井手道雄)

組織の継続について	247 (3)
ニーズとウォンツ	415 (5)
医療の質とセグメンテーション	883 (10)

ルポ&インタビュー 病院アレコレ見聞録

医療法人暉純会武内病院・榊原温泉病院	
……武内純四郎・朝熊康夫・明田昌三・岡田幸子	515 (6)

研究と報告

当院の医療用酸素保険請求率について	
……早崎孝則・他	157 (2)
火災に関するマニュアルの作成とその運用結果に	
ついて	……村山国男・他 164 (2)
効率的資源配分の観点からみた医薬分業	
……田中 滋・根本正樹	321 (4)
大津市民病院における看護量の調査と分析	
……石田順子・三嶋恵子・山野昌美・村田陽子	498 (6)
CAPD バッグ頻回時間指定配送	……近森正昭 599 (7)
小児病院における看護職員数と患者の看護度調査	
……小池淳子・中野博行・長畑正道	792 (9)

GROUPING & NETWORKING

東海青年医学会の現状	……伊藤伸一 138 (2)
京都の現状—柔軟なネットワークによる意識改革	
……児玉博行	340 (4)
市民中心の医療を目指して—北九州青年医師有志会	
……西島英利	526 (6)
地域に密着したトータル・ヘルス・ケアを目指して	
—地域医療研究会	……亀井克典 708 (8)
「医療機関連携の時代」に向けて—近畿病院団体連合	
会事務長会	……海北幸男 892 (10)

厚生行政を読む(厚生行政研究会)

価値観の変化と受療行動	62 (1)
超人手不足の時代	140 (2)
医療費用やぶにらみ	238 (3)
パワーシフト(上)	342 (4)
パワーシフト(下)	410 (5)
救急救命士法(上)	521 (6)
救急救命士法(下)	620 (7)
脳死と臓器移植(上)	710 (8)
脳死と臓器移植(中)	800 (9)
脳死と臓器移植(下)	894 (10)
薬価算定方式の改正	988 (11)
〔拡大座談会'91〕診療報酬改定を占う	1086 (13)

精神科医療 総合病院の窓から(広田伊蘇夫)

いま、なぜ総合病院か	338 (4)
アメリカの精神科病棟の発展	430 (5)
コペンハーゲン市民病院のこと	542 (6)
20世紀初期: Johns Hopkins 病院の人々	602 (7)
リエゾン精神医学とは	698 (8)

総合病院精神科の患者動態	788 (9)
「都心ノ病院ニテ幻覚ヲ見タルコト」の記	896 (10)
変わりゆく精神分裂病像	970 (11)
老人医療にかかわってみて	1094 (13)

統計のページ

自治体病院の運営管理状況の推移(1)	米田啓二	80 (1)
自治体病院の運営管理状況の推移(2)	米田啓二	168 (2)
自治体病院の運営管理状況の推移(3)	米田啓二	256 (3)
税務統計からみた医療費負担	岡本悦司	344 (4)
税務統計からみた保険料負担	岡本悦司	432 (5)
患者調査からみた疾患別入院日数パターン	岡本悦司	528 (6)
国保統計からみた再審査の状況	岡本悦司	604 (7)
人事院統計からみた病院職員給与	岡本悦司	700 (8)
レセプト統計からみた入院時医学管理料の状況	岡本悦司	790 (9)
司法統計からみた医療過誤訴訟の実態	岡本悦司	898 (10)
薬剤師会調査からみた医薬分業の実態	岡本悦司	986 (11)
老人保健施設調査からみた老人保健施設の状況	岡本悦司	1096 (13)

わが病院の患者サービス

松波総合病院	松波英一	60 (1)
高槻病院—活発なボランティア活動	向井 均	236 (3)
市立舞鶴市民病院—薬剤師外来開設	丸山豊和	412 (5)
大分県立病院—外来調剤待ち時間を大幅に短縮	嶋崎晃次	618 (7)
掛川市立総合病院—院内郵便局のオープン	柴田昌雄	776 (9)
松江生協病院—「参加」と「協同」の医療をめざして	河津美和子	968 (11)

医療を囲む声 病院の視力・聴力・感性

より多くのデータから学ぶ大切さ	山本和利	64 (1)
在宅ケアを考える	山本和利	240 (3)
「総合医療」をめざして	山本和利	414 (5)

勤務医からの発言

病院の求める医師—プライマリ・ケアのできる		
専門医	福間誠之	59 (1)
どうなるのか看護婦不足	亀井克典	144 (2)
患者の信頼を得るには	伊東直哉	251 (3)
医事紛争は防げるか	浅井登美彦	429 (5)
中堅勤務医の再教育	茅野真男	530 (6)
医学文献の扱い方	佐々木春喜	597 (7)
老人医療、精神医療の中で	今村千弥子	702 (8)
救急医療の現場から	伊良部徳次	799 (9)
新生児医療の明日に思う—「医師過剰」時代の		
人手不足	加部一彦	891 (10)
気管支喘息のリハビリテーション	斎藤勝剛	972 (11)
ホスピスの現場から	恒藤 暁	1085 (13)

病院管理トピックス

〔集中治療〕

集中治療—最近の考え方	柴田淳一	82 (1)
中小病院におけるICUの設計と設備	藤本泰俊	258 (3)
ICUの効率的運営	松原 泉	434 (5)
ICUにおける看護婦の教育	田島桂子	622 (7)
Computerized ICU	藤本泰俊	802 (9)
集中治療の経済学	浦上秀一	990 (11)

〔病院経営〕

意思決定会計と病院経営④	川渕孝一	85 (1)
意思決定会計と病院経営⑤	川渕孝一	261 (3)
意思決定会計と病院経営⑥	川渕孝一	436 (5)
意思決定会計と病院経営⑦	川渕孝一	625 (7)
意思決定会計と病院経営⑧	川渕孝一	805 (9)
意思決定会計と病院経営⑨	川渕孝一	933 (11)

〔リハビリテーション〕

私立病院とリハビリテーション—整形外科の立場から	信原克哉	172 (2)
リハビリテーション専門病院—その現状と役割	窪田俊夫	260 (3)
これからのリハビリテーション	大田仁史	348 (4)

〔外来運営〕

病院外来運営の新しい考え方	穀山聡子	171 (2)
外来における保健婦活動	氏家悦子	346 (4)
外来ロビー栄養チェック	金子 攻	531 (6)
外来運営のシステム化	大櫛陽一	714 (8)

放射線		
誰が放射線部を運営すべきか	海老根精二	173 (2)
放射線部登場の経緯	海老根精二	347 (4)
放射線技師の引きずる黎明期の記憶	海老根精二	532 (6)
放射線部門の運営を技師の手に	海老根精二	713 (8)
コメディカル部門における日米格差	海老根精二	900 (10)
技術革新の行き着く果ては	海老根精二	1100 (13)

〔薬剤〕		
変革する医療社会と医薬品情報	水野恵司	437 (5)
添付文書の利用限界と情報収集法	水野恵司	533 (6)
TDM(薬物治療モニタリング)	吉岡優子	624 (7)
TDMシステムと実際	吉岡優子	712 (8)
どんな時にTDMを行うと有効か	吉岡優子	804 (9)
外来患者の服薬指導に取り組む	斉藤 明	901 (10)
入院患者の服薬指導に取り組む	斉藤 明	992 (11)
退院時の服薬指導を中心に	斉藤 明	1098 (13)

医療・病院管理用語ミニ辞典

〔病院管理〕

採算管理と損益分岐点	一条勝夫	86 (1)
病院組織	小野丞二	174 (2)
病床利用率(Occupancy Rate)	一条勝夫	262 (3)
大規模経済の原理	一条勝夫	438 (5)
公費医療	小野丞二	534 (6)
パーキンソンの法則	一条勝夫	626 (7)
ターミナル・ケア	小野丞二	718 (8)
M&A(合併と買収)	一条勝夫	806 (9)

医療保険	小野丞二	902 (10)
ナーシングホーム	一条勝夫	994 (11)
〔産婦人科医療〕		
病理学的検査法	石井明治	174 (2)
微生物学的検査, 超音波検査	石井明治	350 (4)
監視装置による検査, 負荷試験	石井明治	438 (5)
生体検査, 診断穿刺・検体採取	石井明治	626 (7)
注射	石井明治	806 (9)
産婦人科の処置	石井明治	994 (11)
〔救急医療〕		
緊急ペーシング	中江純夫	86 (1)
食道圧迫止血チューブ挿入法	中江純夫	262 (3)
心膜(囊)穿刺	中江純夫	350 (4)
ミラー・アボット管(イレウス管)挿入法	中江純夫	534 (6)
観血的肺動脈圧測定・心拍出量測定	中江純夫	718 (8)
中心静脈圧測定	中江純夫	902 (10)

時 評

学会の認定医制度とは	箕輪良行	87 (1)
------------	------	--------

国保病院の地域医療離れ	矢島 嶺	175 (2)
政治変革と医療の土着性	箕輪良行	263 (3)
国保診療所医師の生活と意見(その1)	矢島 嶺	351 (4)
都心部のプライマリケア	箕輪良行	439 (5)
国保診療所医師の生活と意見(その2)	矢島 嶺	535 (6)
ヘリコプター搬送と医師添乗	箕輪良行	627 (7)
地域医療の常識を再検討する	矢島 嶺	719 (8)
博士号の地盤沈下	箕輪良行	807 (9)
福祉を医療産業化しないために—診療所の役割	矢島 嶺	903 (10)
へき地勤務と医師患者関係	箕輪良行	995 (11)
人間管理化するむデイケア事業	矢島 嶺	1101 (13)
☆海外医療事情(濃沼信夫)	84 (1), 143 (2), 337 (4), 383 (5), 483 (6), 574 (7), 666 (8), 768 (9), 840 (10), 1074 (13)	
☆書評と紹介	竹内 實 58 (1), 道下忠蔵 142 (2), 箕輪良行 387 (5), 加藤政子 409 (5), 江見康一 479 (6), 岡島光治 717 (8), 児島忠雄 797 (9), 多田羅浩三 851 (10), 松山 真 984 (11), 西田茂樹 1092 (13)	

■心のアンテナをいっぱいに伸ばし、技術も知識も精神も豊かな看護婦に!



新刊

【監修】 西元勝子
 【原作】 勝田仁美 山本絹子 谷端千代美
 田中英子 村上智香
 【作画】 藤田梯子

●本書の特色

看護婦や看護学生に、気軽に読んでいただける「看護婦の、看護婦による、看護婦のための」基礎看護啓蒙書。新人ナースが、病棟の中で悪戦苦闘しながら学びを重ね、「看護のプロ」に向かって成長してゆく姿が、感性豊かなタッチで、臨場感豊かに描かれている。読者の共感を呼ぶストーリーと、現場からならではの示唆にあふれる解説とを立体的に構成し、みずみずしい看護のこころを表現する。

●B5変型 頁164 1991 定価1,442円(税込) 〒300 (34031)

●目次紹介

- 「はじめに」がわりにちょっと一言
- ①勝手な判断と「どうしましょう」
- ②マニュアル; 最低限がいつのまにかベストに
- ③「言葉遣い」の重み
- ④初めての夜勤は必死
- ⑤私が担当ナースです
- ⑥頼りなさは真剣さでカバー
- ⑦便秘させるのもナースの恥
- ⑧「恥ずかしさ」を忘れていませんか?
- ⑨患者さんには耳障り
- ⑩申し送りの必要条件, 十分条件
- ⑪付き添えば疲れるんです
- ⑫箸や湯呑みはきれいな
- ⑬患者の味方はナースだけじゃない
- ⑭「ちょっと待ってください」を考える
- ⑮何をどう報告する?
- ⑯研究のために許されること
- ⑰退院したらこっちのもの?
- ⑱癌患者の心の声が聞こえますか
- ⑲ナースコールはなぜ鳴るの
- ⑳誰の時間を重要視?
- ㉑記録はホントに事実か
- ㉒「問題患者」だらけ?
- ㉓家族の教育って何?
- ㉔ものには値段があるのです
- ㉕もう新人じゃない



医学書院

1113-91

東京・文京・本郷5-24-3

☎03-3817-5657(お客様担当)

振替 東京7-96693

☎03-3817-5650(書店様担当)